



四 国 研 部
えひめ TOBE

とべ 議会だより



松山市古川^{たにぐちなおこ}の谷口直子さん（46歳）は、大南にある清酒 初雪盃 醸造元協和酒造（株）の専務取締役として、杜氏である弟さんの酒造り補助全般をこなすほか、1階の直売店や2階の「酒蔵カフェ」で、窯元等散策者のひと休みに立ち寄られた方々に、笑顔で接し日々頑張っています。（試飲コーナーにて）

12月定例会

- 中央公民館完成へ 2 p
- 指定管理者の指定 ほか（委員会審査） 3～5 p
- 5議員が町政を問う（一般質問） 6～10 p
- 議会とまちづくりを語る会（2団体と） 12～13 p
- 視察研修 14 p

12月定例会

中央公民館 改修工事 3月完成に向けて

- 2月29日・3月1日に学校教育課、社会教育課、子育て支援課が、仮設庁舎から引っ越しします。
 - 3月28日に餅まき・アトラクションを行います。
 - 4月1日から町民の方にご利用いただけます。
- (上記はあくまで予定です)



2階講堂へも
エレベーターで



体育館天井の耐震化も
これでひと安心



2階にあった講座室も4階に移り
こんなに広く



講堂も見違えるくらい
すっきりきれいに

指定管理者の指定

◎陶街道ゆとり公園及び田ノ浦町民広場の指定管理者の指定について(令和2年度～5年間)

三谷 指定管理者候補選定委員会のメンバーは？

A 教育長、社会教育課長、企画財政課長、学校教育課長、スポーツ協会会長の5人。

◎文化会館及び町立図書館の指定管理者の指定について(令和2年度～5年間)

柿本 管理料が年間450万円増えているが、理由は？

A 主に人件費で、給料のスライド分と利用者数の増加により、常勤雇用を増やしたため。



アクティオ(株)が継続へ



芙蓉メンテナンス(株)が継続へ

◎令和元年度一般会計補正予算

松崎 重度心身障害者医療助成費、ひとり親家庭医療助成費、乳幼児医療助成費、児童医療助成費の増額理由は？

A 当初予算計上時は過去3年間の平均で算定していたが、今年度は想定より伸びた。医療費は年度により幅があり、見込みにくい。

原田 子ども・子育て支援費が増額されているが、町外施設の利用者が増えたためか？

A 町内施設は特に0～2歳児の空きがなく、町外施設の利用を希望する保護者もいる。

松崎 オリンピック聖火リレー関連イベントについては？

A 麻生保育所の子どもたちや、麻生小学校・砥部中学校の児童・生徒に、沿道で応援してもらおう。

平岡 町内では何人走れるのか？

A 前回のよう自治体を利用形式でつなぐのではなく、町内の一部区間、1人約200mを想定している。

中島 就学援助費で、基準単価の改定や卒業アルバムが助成品目に追加されたため増額となっているが、1冊あたりの価格と対象人数は？

A 国の基準に基づき、小学校は1万890円が上限で116人、中学校は8710円が上限で70人。

◎その他

西岡 児童の近視対策で、太陽にあたると効果があると言われているが、その認識は？

A パソコンやスマホの影響で近視の児童が増えていると言われている。授業にメリハリをつけ、教室外の活動も取り入れる。

令和元年度補正予算

— 主な項目 —

◆ 一般会計 ◆

○ 民生費	1984万円
○ 子ども・子育て支援費	1768万円
○ 障害者自立支援給付費支給事業費	1168万円
○ 重度心身障害者医療費助成事業費	951万円
○ 乳幼児医療費助成事業費	797万円
○ 教育費	1418万円
○ 中央公民館耐震・大規模改修事業費	129万円
○ 中学校就学援助事業費	76万円
○ オリンピック聖火リレー経費	72万円
○ 小学校就学援助事業費	3358万円
◆ 特別会計 ◆	
○ 国民健康保険事業	13万円
○ 事業勘定	28万円
○ 直営診療施設勘定	39万円
○ 後期高齢者医療	
○ 介護保険事業	
○ 保険事業勘定	

広田地区の3施設

指定管理者の指定

◎峡の館・交流ふるさと研修の宿の指定管理者の指定について
(令和2年度～5年間)

A 佐々木(隆) グリーンプロジェクトの企業実態及び指定管理候補選定委員会のメンバーは？

A グリーンプロジェクト、広田を愛する会、愛媛写真家協会、エコファームの4団体で構成。選定委員は、副町長、企画財政課長、地域振興課長、商工会長である。

西岡 経営状況が悪化した場合、契約期間中の契約解除はできるか？

A 包括協定を締結し、運営に係る損害賠償やリスク分担等、協定書に盛り込まれており、契約解除できる。

◎農村工芸体験館の指定管理者の指定について
(令和2年度～5年間)

中島 農村工芸体験館の指定管

理者がT・T・S(砥部焼体験サポーター)になった理由は？

A 砥部焼を体験する施設という特殊性がある。指導が専門的であるため、窯元が従事する必要があり、単独の指定管理とした。

条例の一部改正

◎水道事業給水条例

指定業者より事務手数料を徴収

政岡 更新時期が来た業者から5000円を徴収するのか？

A 一番早い更新時期は令和2年9月末である。

◎令和元年度一般会計補正予算

大平 アプリカ豚コレラの対策

と現在の豚の飼育頭数は？

A 感染源は野生のイノシシといわれているので、豚舎の周



イノシシの侵入を防ぐワイヤーメッシュ柵

りをすべてワイヤーメッシュの柵で囲む。飼育頭数は太陽ファーム1社で約1万頭。

東 アプリカ豚コレラが日本で発生した事案はあるのか？

A 日本で発生した事案はないが、羽田空港で、アプリカ豚コレラ菌の入った肉を中国から持ち込もうとした事案があった。

政岡 ふるさと納税について、

実質の寄附額は？

A 平成30年度は、1885万円の寄附のうち545万円が経費であり、1300万円あまりが財源となった。

◎その他

東 湯砥里館の無償譲渡の進捗状況は？

A 1社の提案書待ちという状況。令和2年度に譲渡の手続きになると考えている。

◎請願の審査

「日米FTA交渉は中止し、日米貿易協定の国会承認は行わないことを求める請願」
(継続審査)

令和元年度補正予算

— 主な項目 —

◆ 一般会計 ◆

○ 総務費

・ ふるさと納税推進費

185万円

○ 農林水産業費

・ アプリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業補助金

176万円

◆ 特別会計 ◆

○ 水道事業特別会計

・ 受託工事請負費

2500万円

地域振興課が商工観光課へ

条例の制定

◎会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

フルタイム・パートタイム職員の名称変更に伴う制定

菊池 フルタイムは「給料」、パートタイムは「報酬」に変わったのは？

A 地方自治法で定められた。

山口 待遇は改善されるのか？

A 適正な人事評価により、継続雇用になれば昇給もある。フルタイムには退職手当が支給されるメリットがある。

森永 変更による費用の増加は？

A 保育士や学校生活支援員の増員もあり、1億2000万円程度増える。

井上 行政職給料表の金額は他の市町も同じか？

A 県人事委員会の勧告に基づいた金額を使用しており、ほとんどの市町が使っている。

◎会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例

非常勤職員等の任用の厳格化

山口 坂村真民記念館の館長の立場はどうなるのか？

A 会計年度任用職員へ移行。

山口 現在、報酬を受け取っていないが？

A 雇用の仕方等、厳格化が求められており、今後は給料を支払うことになる。

佐々木(公) パートタイムの公務災害補償は？

A フルタイム・パートタイムに関係なく全員が対象。

井上 区長・交通指導員・地区公民館長が外れるが？

A 特別職、非常勤職員の要件が厳格化されたため、私人として謝礼で対応する。

条例の一部改正

◎課設置条例

企画財政課及び地域振興課の名称変更

山口 商工観光課に自転車施策の推進とあるが？

A サイクリングを観光の部分に位置付けて力を入れる。

◎令和元年度一般会計補正予算

佐々木(公) 有線放送がある区は？

A 上野・川井・広田全域以外。

◎その他

西岡 ひとり親家庭が全国で増えているが？

A 本町も増えている。

中島 広田の医師住宅は普通財産になっていないのか？

A 行政財産として、保険健康課で管理している。

佐々木(公) ドクターヘリポーターに問題はないか。また出勤件数は？

A 県と航空会社に確認し問題



子どもたちも興味津々（ドクターヘリ）

はなかった。本年出動は2件。

菊池 後期高齢者が大型粗大ごみを出す場合に支援している町があるが、本町では？

A 将来の課題である。

令和元年度補正予算

— 主な項目 —

◆ 一般会計 ◆

- 総務費
- ◆ 公共施設更新準備基金積立金 995万円
- ◆ 有線放送施設整備費補助金 (頭ノ向・久保田) 37万円
- 消防費
- ◆ 防災士養成講座負担金 18万円

河川の氾濫・決壊対策は

町長／止水事業の推進を強く要望する



まつさき こうじ 議員
松崎 浩司



掘削事業の始まった重信川（県団地付近）

松崎

① 3月議会の一般質問にあった「河床掘削を主とした河川氾濫の防止対策」について、町長の答弁は「国の補正予算が成立後、工事に着手する予定」であった。工事の時期・場所・内容は、

② 重信川の護岸工事の必要性は。

③ 大雨の時、砥部川から重信川への合流が難しい状況である。その結果として、どのような事態が考えられるか。また、その対応は、

町長

① 期間は令和元年11月中旬から2年3月末の予定。場所は県団地付近から赤坂泉付近までの区間。内容は約4万5000㎡の堆積土の撤去と、洪水時に急流から堤防を守るため、堤防に直接水が当たらないように流れを中央方向に向けて水制工を設置する。

② 重信川の砥部町側は、すでに護岸を整備しており、今回の水制工の設置により安全性が増すことから、追加工事の予定はない。

③ 最悪の事態として、堤防の決壊や河川の氾濫のほか、住宅地への浸水被害をもたらすことが考えられる。この対策については、令和2年度浸水対策の概略設計を行い、検討を進めていきたい。また、国や県に対しても、災害を未然に防止する止水事業の推進を強く要望していきたい。

災害に備えた アプリ使用の促進を 町長／普及拡大を図る

松崎

数十年に一度といわれるような自然災害が毎年のように繰り返されている状況において、本町のメールアドレスの登録者や県避難支援アプリ「ひめシエルト」の登録者を増やし、その利活用を促進することは、喫緊の課題であると考えます。

① 本町のメールアドレスの登録者数は、
② 登録者を増やすため、どのような手立てを考えているか。

町長

① 現在約1400人。県避難支援アプリ「ひめシエルト」には約220人が登録している。登録者数は昨年の

約560人から、この1年4カ月あまりで2・5倍に増加している。要因としては、身近に甚大な被害が多発していることから、住民一人ひとりの防災・減災に対する意識の変化が表れたものと推測される。
② 今後も広報紙をはじめ、自主防災組織連絡協議会や各種の防災訓練、防災ワークショップなどを通じ、引き続き普及拡大を図っていく。



きくち しんじ
菊池 伸二 議員

自転車保険加入の促進を

町長／積極的に加入促進する

菊池

環境に優しい交通手段であり、手軽で身近な乗り物として多くの人が利用する自転車は、普及台数が約7200万台と自動車に匹敵するほど多く、そのため自転車の事故は一向に減らない。そこで万が一の事態への備えが必要であり、国は損害補償制度の検討会を発足させた。本町での自転車保険の加入や条例の制定、安全教育はどうなっているか。

町長

町民の自転車保険の加入状況については、町独自で調査していないため実態は把握できていないが、特に中学校の自転車通学生には加入を義務化するなどの指導を行っている。町独自の条例は検討していないが、県が平成25年



安全に乗ってね(砥部小自転車教室)

に制定した、自転車の安全な利用の促進に関する条例に基づき、加入促進を図っている。交通安全教育については、小学生や高齢者を対象に、毎年、交通ルールや安全な乗り方など、警察や交通安全協会と連携して自転車教室を開催して、今後も継続して行う。また、広報紙やメールマガジンを活用し、自転車保険の加入についても積極的に促進する。

食品ロス削減の推進を

町長／今後も食品ロスの啓発を図る

菊池

食品ロス削減推進法が参議院本会議で可決成立した。この法律は国や地方公共団体、事業者、消費者などが連携し、食品ロス削減を推進することを目的としている。家庭での食品ロス削減、外食時の食べきり啓発、災害時用備蓄食料の有効活用、学校での食育の促進など、今後の対策は。

町長

本町では消費者教育の一環として、町内すべての小・中・高等学校で出前講座を実施し、「食品ロスをなくそう」と題して、消費期限や賞味期限を見ても買わない、買すぎないなど、もったいない意

菊池

本町飲食店での食べ残しはどうか。

町長

把握はしていないが、昼食時についてはほぼ問題ないと思われる。食べ残しの要因の一つには宴会時が考えられる。※3010運動を実践し、食べ残しの減少につなげたい。

菊池

学校給食センターでの食べ残しの割合は。

学校教育課長

10月は3・2%程度である。

忘年会 新年会 は おいしく残さず 食べきろう!

宴会 5 箇条

- 1 まずは、適量注文
- 2 幹事さんから「おいしく食べきろう!」の声かけ
- 3 開始30分、終了10分は、席を立たずにしっかり食べる「食べきりタイム!」
- 4 食べきれない料理は仲間で分け合おう
- 5 それでも、食べきれなかった料理は、それでも、食べきれなかった料理は、お店の方に確認して持ち帰りましょう。

※3010運動とは 食品ロスを減らすための運動で、宴会の開始後30分と、終了前10分は席に座って食事を楽しむというもの。

3010運動



原田 公夫 議員

消防団員の確保を

町長／組織再編に向け協議中

原田

本年は各地で大雨による災害が発生し、被害者も多数出ている。災害が起こったとき最前線で活動するのが消防団員であるが、少子高齢化により、若い世代の団員確保が年々難しくなっている。先日、排水ポンプ車を購入したが、現場作業を担うのは団員である。団員の確保についてどのような取り組みをしているのか。

町長

本町の消防団員数は291人で、条例定数305人を充足していないが、各分団が協力しあい支障を及ぼさないよう活動している。消防団協力事業所表示制度の導入や女性消防団の編成、設備面でも計画的な車両の更新、詰所の建



団員による排水ポンプ車操作訓練
(11月10日)

て替え、装備品の充実といった環境改善を図るなど、あらゆる面で

消防団の活性化及び支援の拡大に取り組んでいる。しかし団員の高齢化や人口減少が進む中、将来的に消防力の維持が困難であり、実行力の高い消防団の組織再編に向けた議論をしている。

原田

消防団協力事業所表示制度の登録数は。

総務課長

9つの事業所が認定されている。

高齢運転者への支援対策を

町長／車がなくても日常生活が送れる町へ

原田

高齢者が運転する車でアクセルとブレーキの踏み間違いによる死亡事故が発生し、大きな社会問題となっている。東京都では高齢ドライバーによる交通事故の緊急対策として、急発進を防止する安全運転支援装置の購入補助金制度を開始した。本町での高齢者の安全運転支援対策は。

町長

安全運転支援装置の購入と設置費用に対する補助制度は、東京都をはじめ県外の一部自治体で実施している。国でも高齢者を対象に急加速抑制装置の購入と設置費用に対する補助制度の検討が進められている。補助につい

ては、国の動向や県、また他市町の状況を見て判断したい。

しかし、安全運転支援装置だけで事故を防ぐことはできない。運転に不安があり運転免許証を自主的に返納する高齢者への支援も重要であると考えている。自主返納した65歳以上の入50000円分のバス乗車券もしくはタクシー券を交付している。車がなくても安心して日常生活が送れるよう、とべ温泉行きバスの路線見直しや乗り合いタクシーの利用促進など、一層の利便性の向上を図りたい。

原田

国は、自動ブレーキなど安全機



後付けできる安全装置(オートボックスとベド)



さ さ き たか お
佐々木 隆雄 議員

災害発生時の対応強化を

町長／道路拡幅に取り組む

佐々木(隆)

①町内に緊急車両通行不能箇所が218カ所あるが、対応すべき家屋数や人数、居住実態などの把握は。また、このような箇所を少なくするための対応は。
②平成28年の熊本地震時に、現場でアスベスト含有の有無が測定できる携帯型アスベストアナライザーが有効であったと聞いている。本町でも導入しては。

町長

①緊急時に対応すべき家屋数や人数、居住実態などは把握できていない。また、生活道路の約7割は道幅が狭く、思うように改良が進んでいない。拡幅工事には用地の確保が必要なため、地元との調整を図り、用地の提供が可能な箇所から積極的に対応したい。
②携帯型アスベストアナライザーは、アスベスト含有の有無を簡易

的かつ短時間で確認できる

るので、被災現場での応急対応に有効と言える反面、一定以上の含有率の場合しか検知できないうえ、価格も700万円と高額であるため、導入は慎重に検討する必要がある。

佐々木(隆)

本町のアスベスト使用建物解体等における調査費や除去費用の補助制度は。

建設課長

調査費の補助はあるが、実績はない。

佐々木(隆)

阪神・淡路大震災時のがれき撤去作業で、アスベストによる胸膜中皮腫被害が発生した。単独で難しいので



携帯型アスベストアナライザー

出典：石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル（厚生労働省）

図書館の利用向上対策を

教育長／利便性を図り、貸し出し増加に努める

佐々木(隆)

①6月、読書ハリアフリー法が成立した。視覚障がい者等の読書環境の整備推進について、具体的にどのようなことを実施するのか。

②銀行ATMのような端末機に通帳を通し、読んだ本のタイトルや貸し出し日を記録する「読書通帳」を導入した図書館では、児童図

町長

あれば、近隣市町と共同で導入しては。
市町連携会議等で問題提起していく。



書の貸し出しが増えたというところもある。本町図書館でも導入しては。

教育長

①一般書籍の文字をモニターで拡大する拡大鏡やルーペを用意している。また、大活字本を約300冊、日本文学の音声CDを約300枚貸し出ししている。今後も蔵書等を増やし、利便性向上を図っていく。

佐々木(隆)

②今年度に図書館システムの更新を行い、令和2年2月から読書記録機能を備えた通帳を導入予定となっている。導入の際、広報やチラシで周知し、読書意欲の向上に努める。

大人も利用できる通帳型記録帳システムとしては。

社会教育課長

大人もこのサービスを利用できる。

災害時の水確保について



にしおか としまさ
西岡 利昌 議員

町長／安定した水の供給に努める



高尾田区にある
第4水源地

西岡

災害発生時、特に困ることは、停電と断水の長期化である。停電の復旧は電力会社にまかせ、断水の復旧は町が責任を持つべきと考える。自治体によっては校庭に貯水槽を造り、一定期間、水の供給ができる体制をとっているところもある。

災害時は自助・共助・公助の連携が大切である。自助・共助を住民にお願いしている町は、水確保に努力すべきでは。

町長

被害想定で、本町の上下水道断水率は86・3%である。大規模地震が発生した際は、町内の主要な配水池に設置してある緊急遮断弁の作動により、配水池内の水を確保する。取水機能の最も大きい第4水源地には自家発電機を整備し、停電時にも消毒済みの供給水を貯水するように対策をとっている。

西岡

水源の対応は十分できていると理解しているのか。

町長

十分とは思っていないが、いろいろな今の施設の中で、最大限の努力をするよう努める。

近視児童・生徒への対応は

教育長／検査結果を保護者に通知する

はどのように考えているのか。

教育長

小・中学校では1学期に全学年を対象として視力検査を実施し、結果を保護者に通知している。検査の結果、1・0未満の児童・生徒には、早めに眼科医を受診するよう促している。

小・中学校の近視の割合は、裸眼視力1・0未満が小学生34%、中学生67%、0・3未満の低視力者が小学生9%、中学生31%となっている。学校と家庭が連携しながら視力低下の予防に努めている。

きたいと考える。

西岡

太陽の光を浴びると目の筋肉が発達し、近視になるリスクが減ると言われている。以前、麻生小学校では四国一周マラソンということで、朝、グラウンドを走っていたが、現在はどうなっているのか。

学校教育課長

把握はしていないが、冬場には各学校でマラソン活動を行っている。

屋外で活動することは大変重要であり、今後広めていきたい。

近年、児童・生徒の近視が全国的に増加している。将来、重大な目の病気を発症するリスクもあるのではという専門家の意見もある。本町の小・中学生の近視の割合はどの程度か。また、今後の対応

西岡



どこまで見えるかな

議案等議員別表決結果一覧表

令和元年

第4回定例会

【会期 12/ 5 ~12/13】

番号	件名	1 柿本 正	2 佐々木 公博	3 原田 公夫	4 東 勝一	5 菊池 伸二	6 佐々木 隆雄	7 森永 茂男	8 松崎 浩司	9 大平 弘子	10 西岡 利昌	11 政岡 洋三郎	12 山口 元之	13 井上 洋一	14 中島 博志	15 平岡 文男	16 三谷 喜好	議決結果	議決日
認定第1号	平成30年度砥部町一般会計決算認定について																	認定	12/5
認定第2号	平成30年度砥部町国民健康保険事業特別会計決算認定について																		
認定第3号	平成30年度砥部町後期高齢者医療特別会計決算認定について																		
認定第4号	平成30年度砥部町介護保険事業特別会計決算認定について																		
認定第5号	平成30年度砥部町とべの館特別会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
認定第6号	平成30年度砥部町とべ温泉特別会計決算認定について																		
認定第7号	平成30年度砥部町農業集落排水特別会計決算認定について																		
認定第8号	平成30年度砥部町浄化槽特別会計決算認定について																		
認定第9号	平成30年度砥部町公共下水道事業会計決算認定について																		
認定第10号	平成30年度砥部町水道事業会計決算認定について																		
議案第55号	指定管理者の指定について（砥部町峡の館及び砥部町交流ふるさと研修の宿）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決	12/13
議案第56号	指定管理者の指定について（砥部町農村工芸体験館）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第57号	指定管理者の指定について（砥部町陶街道ゆとり公園及び砥部町田ノ浦町民広場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第58号	指定管理者の指定について（砥部町文化会館及び砥部町立図書館）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○		
議案第59号	砥部町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第60号	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第61号	砥部町課設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第62号	砥部町職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第63号	砥部町公共下水道条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第64号	砥部町道路占用料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第65号	砥部町水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第66号	令和元年度砥部町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○		
議案第67号	令和元年度砥部町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第68号	令和元年度砥部町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第69号	令和元年度砥部町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第70号	令和元年度砥部町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第71号	令和元年度砥部町浄化槽特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第72号	令和元年度砥部町公共下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第73号	令和元年度砥部町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
請願第2号	日米FTA交渉は中止し、日米貿易協定の国会承認は行わないことを求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	継続 審査	
同意第3号	砥部町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
同意第4号	砥部町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	同意	
同意第5号	砥部町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
同意第6号	砥部町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
議案第74号	砥部町中央公民館耐震・大規模改修工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決	
発委第1号	砥部町議会議員政治倫理条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
発委第2号	砥部町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		

(○：賛成)

刑務所出所者への就労支援を

― 議会とまちづくりを語る会 ―

11/20

〈場 所〉 役場2階 会議室
〈参加者〉 伊予地区更生保護女性会砥部支部の
皆さん(18人)と厚生文教常任委員

● 更生保護女性会について

Q 伊予地区更生保護女性会をどう思っているか。

A 保護司、民生委員、人権擁護委員の皆さんには頑張っていただいており感謝している。男女共同参画が強く言われている中、皆さんには期待している。

● 待機児童の解消は

Q 麻生幼稚園の空き部屋を利用して待機児童を預かるような方は。策は。

A 延長保育の要望も多いが保育士が不足しており、今後、保育士の確保と幼稚園の空き部屋をどう利用するかが問題である。



● 道路の拡張を

Q 国道33号から麻生保育所への入り口を広げてほしい。

● 人口増加への施策は

A 保育所までの道だけを広げるのはいかが、旧33号までの全体を広げるのはいかが課題であり、近隣住民のことも考慮して進める必要がある。

Q 人口が減少すれば、施設の利用者数の減少や学校の空き教室の発生などの不安がある。人口増加への施策はあるのか。

A 年間約1000人は人口減少しているが、県内全体で人口が減少しているので、まず県が先頭に立って考えていかなければならない。

● 保育士無資格者の採用後の資格取得の推奨を

Q 他市では保育士の資格がない人も採用し、採用後に順次資格を取得してもらっているようですが、本町でも行っているのか。

A 担当課に確認する。

● 子育て支援・高齢化の問題

Q 子どもの数を増やすための幼児教育・保育の無償化はやむを得ないが、待機児童が増える原因の一つにもなっている。また、

高齢化が進み認知症や独居老人が増えると思われるが、地域に手助けしてくれるサポーターがいるような仕組みが有効な対策になるのでは。

A 幼児教育・保育の無償化による弊害が出ているのは確かである。高齢者へのサポーターの件は担当課へ伝える。

● 刑務所出所者への就労支援を

Q 松山市では経歴を分かった上で就労支援をしてくれる会社がある。本町でも関心を持ってほしい。

A 就職の受け皿があると保護司も話をしやすいと思うので、町としても事業主に相談し、考えていく必要がある。

● とべ温泉の今後は

Q 赤字の多いとべ温泉は、今後どう運営していく予定か。

A 第3セクター方式も含めて現在1社と協議中である。

● 下水道工事について

Q 工事が終わった地域の接続率は。

A 70%を超えている。

高齢者にやさしい文化会館に

― 議会とまちづくりを語る会 ―

12/18

〈場 所〉 文化会館3階 会議室
〈参加者〉 砥部町老人クラブ連合会の皆さん(32人)と
厚生文教常任委員

●高尾田交差点の右折信号を

Q 麻生橋から麻生小学校への右折がしづらい。右折信号を設置してほしい。

A 朝夕の渋滞時には、大型車に高速道路を利用してもらえるよう、補助金のお願いをしているので、しばらく様子を見てほしい。

●交差点対策を

Q フジ原町店から県生涯学習センターへ行く交差点で事故が多発しているが、対策は。

A 検討したい。

●視覚障がい者にやさしい道路

Q メイン道路については、水路にふた、もしくは柵をする等、安心して歩ける道路づくりを。

A 担当課に話をしてみる。

●交差点の見通し改善と道路 拡幅を

Q J A宮内前の交差点は見通しが悪く、幅が狭い方が優先で事故も多いので改善してほしい。また、旧伊予信金までの道の拡幅はできないか。

A 信号を設置すると、バスの停車時に渋滞になる。道路の拡幅の実現はすぐには難しい。

●県内での土地活用は

Q 町が購入した土地の活用法は。できれば駐車場にしてほしい。

A 公園になる予定。

●みかん産業の現状

Q 基幹産業であるみかん産業に従事する若者が少ない。

A 町と一緒に考えたい。

●防災行政無線について

Q 窓を閉めると聞こえない。
A 携帯電話に同じ情報がメールで送信されるので、役場総務課で登録方法を聞いてほしい。

●文化会館ふれあいホールの 改善を

Q 先般の老人クラブ大会では、壇上から車いすを抱えて降ろしていた。高齢者や障がい者が利用しやすいよう、スロープや手すりの設置等、改善してほしい。

A 検討する。

●総合福祉センターはらまち の利用について

Q 施設で利用申し込みができないか。

A 担当課に伝える。

●健康づくり推進を

Q 町民が運動する機会を設け、参加した人にはポイントを付与し、そのポイントを各方面で使えるような取り組みをしては。

A 担当課に伝える。

●過疎地域の現状

Q 過疎地域、山間部の集落は高齢者が多い。支援してほしい。

A 公的な支援も必要。



●今後の下水道の整備は

Q 下水道は今後も計画どおり整備するのか。

A 麻生小学校区でまだ10年ほかかる。国からの交付金が毎年減少していて、財政事情にもよるが、人口密度が高い地域も整備するべきと思う。

※貴重なご意見を多数賜りましたが、一部抜粋しての掲載になっています。

議会運営委員会

11月26日
京都府福知山市議会
議会基本条例は3本柱として「情報公開の推進」「市民参加の推進」「議会の機能強化」をうたっている。
条例がなくてもその精神を各議員が自覚すればいいのではないかという意見もあったようだが、文書化した方がさらに意識が深まると感じた。
私たちの目指す議会の方向性を条例制定に求める必要性が再確認できた研修であった。



厚生文教常任委員会

10月2日
青森県おいらせ町議会
○小・中学校給食費無料化
令和3年度までの3年間
年間1億1000万円必要
※補てん財源として経常経費の10%
カットと各種補助金の縮減
10月3日
宮城県大和町議会
○高校生までの医療費無償化
両町とも、多子出産祝い金や特定不妊治療費助成、定住促進助成など、町単独で子育て世帯への経済的負担軽減に取り組んでいる。
本町も「子育て世代のモデルタウン」達成に向け、提言したいと感じた。



3月定例会

本会議
委員会

傍聴してみませんか

詳しくは議会事務局へ
☎962-2248

募集

議会とまちづくり
を語る会

町内の団体、グループ、
地域の皆さんからの応募を
お待ちしております。

編集後記

昨年2月に広報委員に選任され、3月から議会だよりの編集作業を始めましたが、早くも今号で終わりです。最高のメンバーに恵まれ、楽しく編集作業ができました。今後も努力して参ります。ご意見よろしく願います。

(広報委員長 西岡利昌)



発行 砥部町議会
〒791-2195
編集 議会広報常任委員会

責任者 議長 中島 博志
愛媛県伊予郡砥部町宮内1392番地
TEL089-1962-2248
FAX089-1962-15473